



新年おめでとうございます。謹んで初春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、皆様より多くのご協力を賜り厚く御礼申し上げます。生活様式が大きく変わり、様々な変化に伴い不安も多々あったと思います。

私たち、訪問看護スタッフは、住み慣れた家や地域でその人らしい生活が送れるよう多くの方に訪問看護を知っていただき、病気や障害を持っても安心してご自宅で療養ができる質の高い訪問看護の提供に努めてまいります。病状の観察やリハビリ、医療処置に関することなど、色々な相談を受けております。

また、利用者様だけでなく、ご家族へのサポートも心がけています。利用者様やご家族より「ありがとう、また来てね」等の言葉をいただき感謝の思いでいっぱいです。日頃より笑顔を忘れずに頑張ります。

2021年「よりよい生活の為に」をモットーに、皆様が安心して地域生活が送れるようスタッフ一丸となり、サービス向上に努めてまいります。今年もよろしくお願い致します。

訪問「看護」ではありません

私たち、訪問看護スタッフがお伺いいたします

訪問リハビリ



※利用者様の掲載許可をいただいております



今年もよろしくお願い致します！  
新型コロナ感染予防も徹底して行います。

編集後記



「牛」と言えばのんびりキャラ。この年に生まれた方は、先を急がず何事もコツコツできる堅実な方が多いのではないのでしょうか。でも、お近くにいませんか。血の気が多い闘牛タイプ…。 対極の良い所をとって堅実ながらも血気盛んな一年を送ろうと思います。年男ではありませんが…。

今年もよろしくお願い致します。

編集担当 平岡



なめがわ地域 福祉支援センターだより

なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811  
埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7  
TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102

なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>



新年のご挨拶

なめがわ地域 福祉支援センター  
事務長 大下 弘樹

明けましておめでとうございます。

昨年は、これまで経験したことない新型コロナウイルス感染症の拡大で、世界中が大混乱しました。日本でも多くの方々がお亡くなりになり、大変な一年となりました。1日も早くワクチンや薬が世界中の方に使えるようになることを祈っています。

また、感染拡大の最前線で戦っている医療従事者をはじめ、関係者の皆様に改めて感謝と敬意を表したいと思います。

一方、コロナ禍ではありましたが、私どもの法人では埼玉森林病院増改築工事、いづみケアセンター居室リニューアル、森林公園メンタルクリニック増改築工事、なめがわ地域 福祉支援センター増改築工事が全て完了しました。

そして、待望の新規事業「リハビリデイサービスなめがわ」がオープンしました。ハードは全て完成しましたので、それに伴うソフト面の充実が本年の課題となります。なめがわ地域 福祉支援センターでは新規事業をスタートしましたが、既存事業も更に充実させてまいりたいと思います。

コロナ禍の状況はまだ続くと思われませんが、最大限の対策をしながら、職員全員が受動的ではなく能動的な意識を持ち、ワンチームで取り組んでまいりたいと思います。

最後になりますが、日頃より地域の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年は、昨年以上に地域貢献できるように職員一同頑張っております。



■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 森林



定期巡回で支援させていただいているA様の支援の一場面をご紹介します。洗濯物を一緒に干していただいています。ご本人が干せるものはお願いし、大きい物はこちらで支援しています。

その後、ご本人と一緒に話をしながら洗濯物をたたんでいます。お話をすることが好きな方で、昔の話や、ご家族の話などたくさん聞かせてくれます。当事業所では、新型コロナが流行している中ではありますが、消毒やフェイスシールドの着用など、感染予防を徹底し訪問させていただいています。今後も住み慣れた家での生活を続けていただけるよう、全力でサポートいたします。

■ 相談支援事業所なめがわ



あけましておめでとうございます。

何かと不便の多い昨今ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。

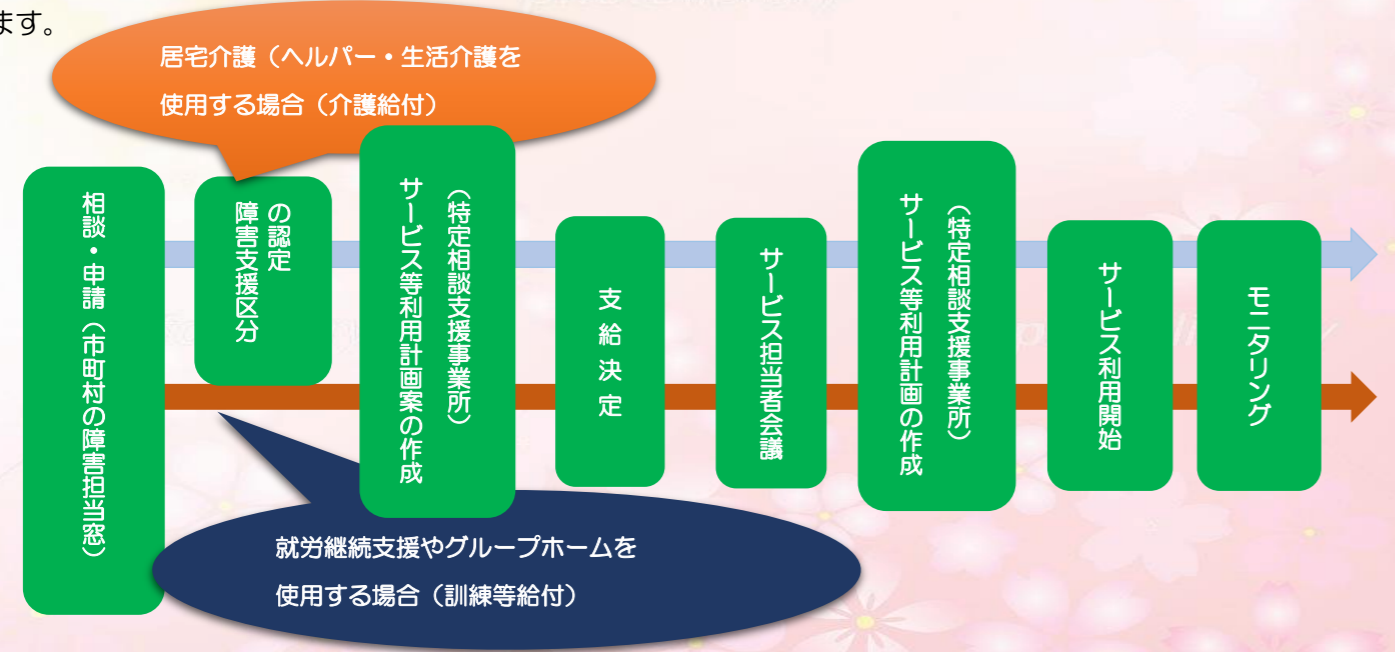
日頃より、特定・一般相談支援事業所なめがわの運営に対し、ご支援、ご協力をいただきまして厚く御礼を申し上げます。

さて、私たち特定・一般相談支援事業所なめがわでは日々様々な相談を受け付けております。業務は大きく三つに分かれています。

特定相談は就労継続B型事業所やグループホームを利用する際に必要となる、サービス等利用計画を利用者さんと面談をしながら、オーダーメイドで計画を作成しています。サービス利用開始後は、定期的に面談を行い必要に応じて計画の変更をしています。

一般相談では、地域移行支援と地域定着支援を行っています。

地域移行支援では長期で施設に入所されている方や、精神科病院に入院している患者さんを対象に、地域で生活するために必要な福祉サービスや、住居の確保など様々なことお手伝いしています。地域定着支援では地域で安定した生活を送れるように緊急時の対応や見守りを行っています。またそれ以外の相談も随時受け付けております。



■ 指定居宅介護支援事業所 いづみ



青天を衝け

新年おめでとうございます。

昨年から新型コロナウイルスの影響で生活様式が変化しています。ステイホームの時間が増えていますが、今年の私の楽しみのひとつは郷土の偉人 渋沢栄一のNHK大河ドラマ『青天を衝け』を観ることです。初回放送日は令和3年2月14日と発表されており、それに伴って『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』も開館します。2024年には1万円札の顔になることも決まっています。さて、渋沢栄一と言えば『日本資本主義の父』として有名で、幕末から昭和初期にかけ500以上の企業の設立に関与し600以上の教育や社会事業に携わり、国際親善にも尽力されています。それでは、何故そのような偉業を成し遂げることができたのでしょうか。

栄一は「経済活動は常に道徳にかなったものでなければならない。」と説き、日本社会が、国民すべてが豊かになる経済の仕組みを取り入れようとした。経済活動で得た富は独占せずに社会に還元すべきと考え、常に「社会のために」という公益の精神があったのです。青天を衝くような強い志を抱き世の中のことを考えていたのだと思います。

人は少なからず「夢」を抱き人生を歩んでいます。自らを叱咤し、人を思いやり、社会の中で助け合うことで「夢」の実現に一歩ずつ近づきます。

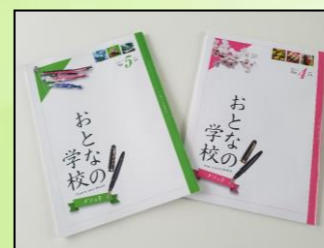
現在IT等での目覚ましい発展がある一方で、コロナ禍における経済の低迷が訪れています。栄一が生きた時代とはまた違った激動の時代ですが、今年は栄一の教えを学び、自分の生き方にじっくり向き合いたいと考えています。

■ なめ福 通信 ～ おとなの学校 ～



「おとなの学校」を毎週水曜日の午後1時30分より開催しております。学校と言いましても因数分解などは行いません。簡単に言うと皆で楽しく「脳トレ」です。決して難しくはないけど考えないとわからない・・・、答え合わせすると「なるほど～」とつい唸ってしまいます。

もちろん、新型コロナウイルスが完全に収束したわけではありませんので、マスク着用、換気、手指消毒、検温、ソーシャルディスタンスの確保等々、万全の体制を整えて行います。心身共にリフレッシュさせる為に、参加されてみては如何でしょうか。



茶	きつまいも	いちご	もも
鹿児島県	茨城県	福岡県	福岡県
かき殻(養殖)	うの	豚	いせえび
宮城県	群馬県	宮崎県	千葉県
にんにく	レタス	いか類	米
北海道	茨城県	北海道	北海道
さくらんぼ	メロン	わかめ類	みかん
北海道	北海道	岩手県	愛知県

見学・体験も承ります。詳しくは下記にお問い合わせください。  
☎0493-81-5101 担当：大下、平岡

教本をもとに脳トレで活性化！！